

意見交換内容

【テーマ1】4年間で進める4大事業

《テーマ1 意見交換》

○参加者

ゴミ処理広域化についての質問です。

私は会議に入ってはいませんが、色々と地域でモメたというのは市長もご存知かと思います。

玉里地区に関しましては、整備対象道路を作ってくれば反対はしませんよというのが住民の声です。石岡市側の方が白雲荘を作れという感じの話をしているというのをご理解した上で、もし道ができなかったらどうするのか、そこら辺をしっかりと考えていただきたいと思います。

地元に関しましては、あくまでも道ができればいいですよ、というのが地元の意見です。

また、還元施設については、箱モノというよりは地元の方が色々できるような施設がよいと思いますが、どうでしょうか？箱モノを作るというよりも違う方向性のほうがよいのかなと思います。

→市長

道路整備については要望として、一般車両に迷惑を与えないように、右折左折がきちんとできるよう広げ、施設を利用する道路と一般道路を分けた整備をしてほしいということであり、支障がないよう整備を進めているところでございます。また、道路の延長をもっと先まで、という話もありましたが、広域行政ですので、地元の意見ばかりというわけには行きません、という話のなかで折り合ったところが今の整備計画に反映されているわけでございます。

白雲荘ですが、当時の状況を聞きますと、やはりゴミ処理施設は嫌われ施設ですので、地元で迷惑施設をどう理解していただくのか、という考えのもと、憩いの場、健康づくりの場、交流の場、それぞれ目的をもって整備されたという経緯がありました。

今回も周辺住民の方々から同じような施設がほしい。特に霞台周辺や石岡周辺の皆さんからは元の施設のようなものが整備されるのは当然だろう、という強い要望があり、地域の代表者、区長さん、お年寄りのご意見そして、若い人の考えを聞こうということで、一昨日高校生によるワークショップを開きました。こうした多くの皆さんの意見を聞きながら、施設はどの様なものがあるのか、田上さんにも積極的にご意見を頂き、地元の意見をまとめていただいて、意見を反映させて新たな施設を整備することが大事ですのでよろしくお願いいたします。

○参加者

意見交換のポイントの1番、アクセス道路について、来年度中に出来上がるという話がありました。

そういった中、人口は2040年にはかなり減っていくという話もありましたので、財政を考えると小美玉市にいかにか企業を誘致していくかが重要になります。やはり進出地については、企業としても好条件の場所となりますし、そうした中でどう進めていくか、他の県、市町村と比べて小美玉市はここが凄いなというような施策を打ち出し、積極的に進めてほしいと思います。

次に、羽鳥駅周辺整備ですが、羽鳥駅周辺を今後整備していくには、特急を止めたり色々な施策がないと進まないのではないのでしょうか。企業が来れば、関係者が駅を使うと思うので、やはり企業誘致は重要になると思います。また、市有地については長い時間をかけて考えていかないと、短いスパンでは失敗するのではないかと思います。

学校規模・配置適正化の学校跡地については、跡地をどの様に使っていくか、話し合いの場を作るなど、地域の関係者から意見を集約するのが良いと思います。

→市長

貴重なご意見をいただきました。

アクセス道路につきましては、県と連携をとりながら進めているところでございます。

現在、工事を発注しており、道路が整備されれば利便性も高まりますし、企業誘致にも条件として非常に整ってきます。また、小美玉市は基幹産業が農業ですので、農地が多い為、企業誘致の際に多少支障があるところも有りますが、そういったエリアを計画的に見直していく、そして企業が進出しやすい条件を整えていくよう進めています。

さらには、企業が進出することによる税金の免除、雇用した人数に対する支援など、様々な方策を打ち出しているところです。

企業が進出し易い環境には、全体的なまちづくりが必要です。駅舎の整備など、利便性を高めるとともに、色々な問題に取り組み、積極的に企業誘致に向けたまちづくりを進めています。また、過日の議会の中でも財源、雇用の創出、移住定住に繋がる企業誘致を積極的に取り組むべきとご指導をいただいておりますので、そういった面も踏まえて進めていきたいと考えております。

学校跡地ですが、今月の 15 日に学校跡地利活用プロジェクトチームを内部で立ち上げ、関係部署間の意見を共有し、どういう方向で進めて行けば良いか検討する会議を開きます。また、地域住民の皆さまの「思い」が有るのが学校ですので、皆さまの考えを大切にしながら施設の利用を考えていきたいと思っておりますので、これから皆さま方に声かけをして、その組織の中で頂いたご意見をまとめながら跡地利活用の問題を整理していきたいと思っております。

羽鳥駅の市有地約 5 反歩であります。その土地については、先ほど申したとおり大変難しい状況であります。皆さんの意見を聞きながら民間活力を十分活用して整備をする手法で進めたい。

これについても委員会を立ち上げて多くの意見を伺ってきましたが、改めて広く声をかけられるような環境を作っていきたいと思っておりますので、意見をいただき、羽鳥駅前の施設が有効に活用されることが交流の場、さらには羽鳥駅周辺の活性化そして羽鳥駅と言うものが先ほど申したように灯台といった場所になるのが非常に大事だと思っておりますので、そういった考えのもと、進めてまいりますのでよろしく申し上げます。

【テーマ2】 将来を見据えた取組み

《テーマ2 意見交換》

○参加者

学校跡地について、今ある学校の敷地は全て市の土地ですか？

それから、医療センターですが、医師の派遣ということで年間1千万円を計上という形になっていますが、今現在はいくらなのか。この2点を伺います。

→市長

それぞれの小学校の土地につきましては、一部借地があります。

橘小学校は幼稚園が建っている部分、その他の小学校についても駐車場などの一部は借地となっています。先ほど申しましたように、借地については返す方向で考えています。

医師の派遣でいくら払っているかですが、東京医科大学と寄附講座というのを進めており、年間1千万の支出で、阿見町の病院から週に6コマ、6人を臨時職員として派遣していただいている状況です。

○参加者

市民が医者に掛かった場合、どういう病気で掛かったのか把握していると思います。

どういう医者をどれだけ呼ぶかを考え、なるべく小美玉市の人は小美玉市で受診できるようにしていただきたいと思います。

→市長

今、小児科が非常に少ないのですが、今度来られた院長先生は小児科医ですので、まだ入院体制はとれない環境ですが、診察する状況には問題ないということです。

また、院長先生は診断の最終判断をする医者であり、部下の医師と一緒に来るだろうという古宿会の期待も有りますので、小児科は充実するとは思いますが、バランスよく診ていただける環境は整えなければいけないと思います。

その点については協定の中にもきちんと入れてありますので、充実されるようにしっかりと話し合いの中で進めて行きたいと思います。

○参加者

玉里地区の義務教育学校について、平成33年度開校を目指して、現在、建設準備委員会を立ち上げ、内容的なことは決まってきたかと思います。9月25日に準備委員会が開催され、玉里小、玉里北小、玉里東小、玉里中の4つのグループ討議を経て、校名が「玉里学園義務教育学校」となりました。

この玉里学園ですが、つくば学園都市とか、水戸とかの大都市圏の「学園」という呼称は違和感はないのですが、玉里地区において「玉里学園」というのはピンと来ず、学校名の決め方においてもグループ討議で声の大きい人の発言がグループの意見として決まってしまうなど、納得できない点があり、一度決まったものを再考するのは無理かとも思いますが、地元になじまない学校名であるので、将来にわたり禍根を残すような感じがします。

また、検討にあたり、アンケートがあったのですが、アンケートの候補名ではない結果で収束したのも納得できない部分であります。

話の中で教育長から「玉里学園義務教育学校」でも良いと発言があり、先生方にも何らかの影響はあると思いますので、そういう収束の仕方は非常に良くない。校名の決定は最重要課題であり、納得いかない部分でありますので、市長のご意見をお伺いしたい。

→市長

大変難しい話ではありますが、小川南小学校の名前を付けたときにも、地区の方々と構成する準備委員会、さらには、校名を選定する委員会で議論され、私のほうに報告があり、それを良しとしたわけでもあります。

今回も建設準備委員会で議論され、アンケートも取り、教育委員会でも発言をさせていただいて、「玉里学園義務教育学校」と決まりましたと報告は頂きました。

これについて市長部局でどうなのかという話し合いはしていませんが、異論もある方もいるかもしれませんが、合議であり、会の中で決められたことですので、それは尊重しなければいけないと考えます。

○参加者

小中学校一貫教育ですが、これに隣接する幼稚園・保育園の話は出ていませんが、どうなっているのでしょうか？

→市長

幼稚園については小川地区では元気っ子幼稚園に統合され、2年保育ということで進めています。

保育園については全て民間保育で進めていますので、この状況で進めて行くのが良いのかと考えています。

美野里地区については、堅倉幼稚園、羽鳥幼稚園、竹原幼稚園、納場幼稚園それぞれ小学校の敷地内、または隣接、近くに設置されていますが、これをどうするかについてはこれから協議していく大きな課題であります。

○参加者

先日、東海第2原発について新たな動きがありました。

私ども農家ですので、東日本大震災、そして十数年前のJCOの事故の際には、風評被害や補償の取組みで苦労した思いがあります。

今後、もしもの事を考え、食の安心安全、さらには地区住民の安心安全について市長の率直な見解と対策をお聞きしたいと思います。

→市長

東日本大震災で福島第二原発が津波で大きな被害を受け、こうした大きな事故にあって大変な思いをし、いまだ避難生活をしている方も大勢いる状況ですので、真剣に取り組んでいかなければいけない大きな問題だと思っているところでございます。

こうした中、私は原発反対の首長会の中にも席を置いている状況ではありますが、今後については、国・県の動向を見極めながら進めて行くというのが一番大事と考えております。

小美玉市は東海第2原発から30km圏外（UPZ圏外）ということですので、避難者の受入れをする立場で協議をしており、事故の際にいち早くひたちなか市の住民を小美玉市で受け入れる協定を結んでいます。

こうした事故・事件が起きてはいけませんが、今の日本の原子力・電気事業を考えますと、なくてはならないというのが国の方針ではありますが、代替案がきちっと成立されれば、原発はない方が良いというのが私の考えです。

ただ、そうは言っても国・県の考えがいち早く反映されますので、「私はこう考えるから皆さんもこう考えて。」という訳にはいかないのかなと思います。

○参加者

原発再稼動OKという裁定について見解をお願いします。

→市長

公の場での発言は控えさせていただきます。

○参加者

学校跡地の件で、行方ファーマーズビレッジの昨年入場者数が63万人となっていました。

土地利用について、農業は行方と小美玉はそれほど変わらないと思いますので、これから地元としてアイデアを出していきたいと考えますのでよろしくお願いいたします。

→市長

ぜひ知恵を出してください。

○参加者

8月の区長会懇談会にて、区長方が抱えている問題として様々な課題が出ましたが、環境問題が多く出ました。

市長から「テーマ1」の中でアクセス道路の整備など地域の活性化を目指してます、という話がありました。市内は国道・県道・市道や公園などある中で、区長からは維持管理が疎かではないか、という思いがあるようです。

今後、国体やオリンピックなどある中で、道路を新しく整備するのも良いのでしょうけども、その後、いかに維持・管理して行くか、それを含めた考えを持っていただきますようお願いいたします。

→市長

過日、世界湖沼会議に向けて環境フェスティバルを実施し、皆さんにもお世話になりました。

小美玉の環境を良くするにはどうあるべきか、ということで、ボランティアの皆さんも積極的に参加いただき、自ら環境問題に取り組んでいこうという考えを示されたわけであります。

行政としましても、住環境については住む場所を選ぶ第一条件にもなるわけですので、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。